

# 平成25年度 一般採用試験前期

## 地理歴史（世界史）試験問題（10頁中の1）

### （人文・社会科学専攻）

（注意） 解答はすべて別紙解答用紙の定められた欄または枠内に記入すること。正しく記入していない場合には採点されないので注意すること。

- 1 以下の文章[I]～[III]を読み、設問の指示にしたがって解答しなさい。

[I] 明王朝の成立については、少なくとも2つの注目される点があろう。ひとつは、王朝の創始者の洪武帝（在位1368～98）が、庶民から皇帝の位にまでのぼりつめている点である。確かに中国社会には、[A]「王侯将相いづくんぞ種あらんや」という言葉が古くから伝えられている。それでも、[B]洪武帝に匹敵するほどの出世を実現した人物は、長い中国の歴史のなかでもけして多くはなかった。もうひとつは、明が長江南岸の[C]南京に首都を定めた点である。[D]中国史において、長江以南に首都をおいた王朝は明の以前にも存在したが、それらは中国の南半分を支配したにすぎなかった。長江以南に首都をおき、同時に黄河流域までも含む版図をもった王朝は、明が初めてであった。明の成立は、[E]宋代・元代を通じて中国南部の開発が進展し、経済・文化の両面で長江下流の江南地方の重要性が増していたことと対応するものといえよう。すなわち、洪武帝が長江南岸の南京を首都としたことは、政治の中心と宋代以来の経済・文化の中心とがここにおいて重なり合ったことを意味する。

洪武帝には26人の男子があったが、そのうちの24人は全国の要地に分封された。たとえば、第二子は秦王として[F]西安に分封され、第三子は晋王として太原に、また第四子は[G]北平に分封された。モンゴルに対する防衛任務を担っていた彼らのうち、とりわけ傑出していたのは第四子の燕王、すなわち朱棣であった。燕王は晋王とともにモンゴルと数回にわたり交戦して勝利をおさめ、父の洪武帝に「朕に北顧の憂いなし」といわせたという。

燕王の朱棣が政権に野心を抱いていることは早くから知られており、やがて南京の政権の脅威になることは明白であった。こうして[H]南京の皇帝と北平の燕王の間に緊張が高まり、1399年謀反準備を理由に燕王の逮捕命令が出された。これに対して[I]燕王は、「君側の悪を清める」というスローガンを掲げて挙兵した。1401年末、燕王は全軍を率いて北平を出発し、南京の政府軍との決戦にふみきり、翌1402年6月に南京を攻略した。同年7月、燕王は皇帝の位につき、[J]新しい年号を制定し、北平への遷都を決定した。

設問1 下線部[A]の言葉を述べた人物を答えなさい。

設問2 下線部[B]に該当する人物をひとり答えなさい。

設問3 下線部[C]について、三国時代の吳の首都であった時の都市名を答えなさい。

設問4 下線部[C]について、南北朝時代の南朝の首都であった時の都市名を下記の①～⑤のなかから選びなさい。

- ①開城 ②金陵 ③建康 ④慶州 ⑤江寧

設問5 下線部[C]の都市を1853年に占領した反乱軍は、ここを天京と改称して首都とした。

この反乱軍の指導者を答えなさい。

設問6 下線部[D]について、このような王朝の事例として適當なものを下記の①～⑤のなかからひとつ選びなさい。

- ①東晋 ②南越 ③大越 ④黎朝 ⑤阮朝

設問7 下線部[E]について、「宋代・元代における中国南部の開発が進展」には妥当しない項目を下記の①～⑤のなかからひとつ選びなさい。

- ①北宋以降、景德鎮が発展して陶磁器生産の中心地となった。  
②北宋時代にインドシナ半島のチャンバーから早稲種の占城稻が導入され、江南では稻の二期作がおこなわれるようになった。  
③南宋では長江下流域の稻作の重要性が増大して、「蘇湖(江浙)熟すれば天下足る」という言葉で言及された。  
④元代には長江中流域の米の生産量が長江下流域をしのぐようになり、「湖廣熟すれば天下足る」という言葉が流行した。  
⑤宋代から発展していた杭州・泉州・明州などの港市を中心とした南海貿易は、元代になるとさらに活性化した。

設問8 下線部[F]の都市では、1936年12月に滯在中のある人物が武力で監禁される事件が発生した。この事件で監禁された人物を答えなさい。

設問9 下線部[G]の都市について、元代の名称を記しなさい。

設問10 下線部[G]の都市について、現在の都市名を答えなさい。

設問11 下線部[H]について、その当時の皇帝の名称を答えなさい。

設問12 下線部[I]について、挙兵した燕王の朱棣が皇帝位を奪取した事件を何というか、その事件名を答えなさい。

設問13 下線部[J]について、この時制定された年号を記しなさい。

[II] インドの首都デリーは、広大なインダス・ガンガ(ガンジス)両平原の分水帯に位置し、ベンガル湾、デカン高原、アラビア海、さらに中央アジアからの交通路が集まる戦略的要地を占める。そのため、しばしば西方からの外来諸勢力の根拠地となった。

[a] 『マハーバーラタ』に記されたパーンダヴァ王子の都インドラプラスタは、現在のニューデリー東部プランナー=キラーにあったという。8世紀の小国分立時代から12世紀末の(ア)朝による占領までの間、デリーはヒンドゥー諸王の都として存続したが、その位置はラール=コート付近にあった。

アイバクもここを根拠地として奴隸王朝を創始した。ラール=コート南方のクトゥブ=モスクは彼が建造を開始したインド現存最古のイスラーム建築である。これ以後、デリーはムスリム王権の首都となった。すなわち、奴隸王朝(1206~90)からハルジー朝(1290~1320)、トゥグルク朝(1320~1414)、サイド朝(1414~51)、ロディー朝(1451~1526)までの5王朝の時代の320年間、首都はデリーにおかれた。[b]この5王朝の時代をデリー=スルタン朝といふ。

デリー=スルタン朝の支配者の系統や支配領域には時代により差異がある。支配者については、(イ)朝はアフガン系の支配者であったが、他の4王朝の支配者は(ウ)系であった。

[c] ハルジー朝のアラー=ウッディーン=ハルジーの時代には、ムスリムの軍勢が初めて南インドを征服し、南インドに大きな影響を与えた。 [d] トゥグルク朝のムハンマド=ビン=トゥグルクも南インドまで支配を及ぼし、デリー=スルタン朝では最大の版図を実現した。 なお、彼の時代のデリーやインドの情勢は(エ)の旅行記に記されている。サイド朝は、1398年デリーに侵攻したティムールにパンジャーブの統治権をまかされたヒズル=ハンが樹立した王朝だが、その支配はデリー周辺にしかおよばなかった。

16世紀前半に建国されたムガル帝国の首都もデリーにおかれた。しかし、第3代皇帝(オ)の時代には、この帝国の首都はデリーを離れた。そして、第5代皇帝シャー=ジャハーンの時代に再びデリーにもどされ、シャージャハーナーバードが建設された。これが現在のオールド・デリーである。

1803年、第2次[e] マラーター戦争の際にイギリスはデリーを占領した。他方、[f] 1857年のインド大反乱では勃発直後に反乱軍がデリー城を占拠した。イギリスはこの反乱を鎮圧してデリーを奪回したが、係争の地となったデリーは大きな被害を受けた。[g] 1911年、インド帝国の首都をデリーへ移転することが宣言され、これとともにニューデリーとその西隣の軍事区の建設が始まり、1931年ニューデリーが完成した。なお、それに先立つ1922年にはデリー大学が創立された。

設問14 下線部[a]の叙事詩が現在の形にまとめられたのは何世紀ころか。

設問15 (ア)に入る王朝名を答えなさい。

設問16 下線部[b]のデリー=スルタン朝時代の支配について、下記の①~⑤のなかから妥当なものをひとつ選びなさい。

- ①インド社会に対してイスラーム法の規定を厳格に適用した。
- ②ジズヤの徴収を廃止し、非イスラーム教徒との和解につとめた。
- ③在地のヒンドゥー教徒有力者層との協力関係をもとに支配がおこなわれた。
- ④在地のシク教徒有力者層との協力関係をもとに支配がおこなわれた。
- ⑤シア派ムスリムとヒンドゥー教徒に対する弾圧を実施した。

設問17 (イ)に入る王朝名を答えなさい。

設問18 (ウ)に入る民族名を答えなさい。

設問19 下線部[c]と関連して、インド最南端に存続していた王朝が14世紀初めに滅亡した。  
その王朝名を答えなさい。

設問20 下線部[d]の事件後、南インドに14世紀前半に成立したヒンドゥー教の王国を答えなさい。

設問21 (エ)に入る人物名を答えなさい。

設問22 (オ)に入る人物名を答えなさい。

設問23 下線部[e]について、3度にわたるこの戦争に勝利したイギリスはどのような権益を獲得したか。下記の①～⑤のなかからひとつ選びなさい。

- ①デカン高原中西部の支配権を確立した。
- ②南インドの支配を決定的にした。
- ③マラバール海岸の諸港市を支配下においた。
- ④パンジャーブ地方を併合した。
- ⑤ベンガル地方の徴税権を獲得した。

設問24 下線部[f]について、デリー城の占拠直後に反乱軍は何を実施したか。下記の①～⑤のなかから適切なものをひとつ選びなさい。

- ①フランスに軍事的支援を要請した。
- ②オスマン帝国に軍事的支援を要請した。
- ③ハイデラバードの藩王国を中心とした新王国の樹立を宣言した。
- ④シバーー出身者を支配者とする新たな王国の樹立を宣言した。
- ⑤有名無実化していたムガル皇帝の統治復活を宣言した。

設問25 下線部[g]について、この遷都が実施されるまでインド帝国の首都はどこにおかれていったか。その都市名を答えなさい。

[III] 多数の史跡が現存する中央アジア南部の古都サマルカンドは、[1]ソグド人のオアシス都市として紀元前6世紀に成立したという。紀元前4世紀後半アレクサンدرス大王に抵抗したマラカンダは、この都市と推定されている。古くから東西貿易で繁栄したサマルカンドは、南北朝から隋・唐の時代の中国では(カ)として知られていた。

712年、ウマイヤ朝の武将クタイバ=ブン=ムスリムがサマルカンドを征服した。サマルカンドのイスラーム化はこの事件を契機に始まり、9~10世紀のサーマーン朝の時代に完成した。10世紀に成立した(キ)朝の支配下ではトルコ化が始まり、セルジューク朝、[2]カラ=キタイ朝、ホラズム朝という3王朝の支配期にさらに進展した。その結果、サマルカンドはトルコ人イスラーム教徒の居住する都市となった。ところが、[3]1220年、モンゴル軍の侵入によりサマルカンドの市街は破壊された。14世紀後半、破壊をうけた旧市街の西南に新市街を再建した(ク)は、そこに文化人・芸術家・職人を強制的に移住させて文化的な発展をはかった。その結果、14~15世紀のサマルカンドはその再建者自身が樹立した王朝の首都として空前の繁栄を誇った。16世紀初め、(ケ)族のシャイバニ(シャイバーニー・ハン)がブハラ(ボハラ)=ハン国を樹立すると、サマルカンドはその支配下に入った。16世紀後半以降は首都がブハラ(ボハラ)に移り、政治的中心ではなくなくなったが、17世紀に2つの大きな(コ)が建設されたことが示すように、文化的な中心としての機能を保持していた。

しかし、18世紀中頃以降のサマルカンドは民族間抗争などで荒廃し、人口も激減した。1868年、ブハラ=ハン国は(サ)軍に占領され、その保護国となった。これにともない1870年代のサマルカンドにはムスリムの居住する旧市街の西側に新市街が建設された。1910年、サマルカンドの人口は約9万となり、トルキスタンではタシケント、コーカンドにつぐ第3の都市となった。1924年にはソヴィエト社会主义共和国連邦の構成国としてウズベク共和国が成立し、1924~30年サマルカンドはその首都となった。1991年のソ連崩壊後は、独立国家ウズベキスタン共和国のサマルカンド州の州都となっている。

設問26 下線部[1]のソグド人は古くから国際交易で活躍し、それにともないゾロアスター教・キリスト教・仏教の要素を融合した宗教が中央アジアや中国などに広まった。このソグド人が伝えた宗教を答えなさい。

設問27 下線部[1]のソグド人が使用したソグド文字からある文字がつくられ、このある文字がモンゴル文字や満州文字の形成に影響を与えた。ソグド文字をもとにつくられたある文字とは何か。その文字名を答えなさい。

設問28 (カ)に入るサマルカンドの呼称を答えなさい。

設問29 (キ)に入る王朝名を答えなさい。

設問30 下線部[2]について、中国におけるこの王朝の呼称を答えなさい。

設問31 下線部[3]について、この時のモンゴル軍の統率者名を答えなさい。

設問32 (ク)に入る人物名を答えなさい。

設問33 (ケ)に入る民族名を答えなさい。

設問34 (コ)には、「ウラマーを育成するための高等教育機関」を意味する語が入る。これに該当する語を答えなさい。

設問35 (サ)に入る国名を答えなさい。

**2** 下記の文章[IV]～[VII]を読み、設問の指示にしたがって解答しなさい。

[IV] キプロスはアジア・アフリカ・ヨーロッパ三大陸に囲まれた東地中海の要衝にあって、古くからさまざまな民族がこの地を往来し、多彩な歴史を織り成してきた。新石器文化の遺跡が認められ、青銅器文化の後期にはオリエントの商業中心地として繁栄したことが [ア] ヒッタイト やメソポタミアの記録からも明らかである。この時代以来豊富な銅の産出で知られるようになり、キプロスという呼称もこれに関連するといわれている。前15世紀ころからエジプト・シリア・小アジアと交流したが、[イ] 前1400年頃からミケーネとの交易が開かれ、前13世紀にはギリシア人が島に到来、植民した。このギリシア文化の影響は決定的であった。オリエント各地との交易は前9世紀以降さらに活発となり、フェニキア人も来住した。前8世紀末には(ウ)，ついでエジプト、前6世紀には[エ] ペルシアの支配に入った。前498年[オ] イオニアの対ペルシア反乱に加わったが鎮定され、その後も反乱を起こすなど解放の動きはあったが成功しなかった。[カ] アレクサンドロス大王の東方遠征の際、キプロス諸都市は征服者を迎えた。大王の死後キプロスはアンティゴノス王家、のちにプトレマイオス王家領となり、[キ] 前58年にはローマに併合された。1世紀なかばごろには(ク)が伝道に来島し、キリスト教化が始まった。[ケ] ローマ帝国の東西分裂後はビザンツ領、7世紀からたびたびアラブ人の侵入をうけ、[コ] 第3回十字軍の際にイギリス王リチャード1世に征服され[サ] テンプル騎士団に与えられた。その後イエルサレム王国の王であった人物の手に帰し、この王朝の下で3世紀に渡る支配が続いた。15世紀以降は地中海の覇権を争う(シ)と(ス)の基地となり、1489年島全体が(ス)の領有となったが、[セ] 1571年オスマン帝国が占領した。

設問1 下線部[ア]について、下記の中から誤っているものをひとつ選び、記号で答えなさい。

- a. バビロン第1王朝（古バビロニア王国）を滅ぼした。
- b. ポアズキヨイ（ハットゥシャ）に首都がおかれていた。
- c. ミタンニを滅ぼした。
- d. エジプトとシリアの覇権をめぐって争った。
- e. 「海の民」の侵入によって滅亡した。

設問2 下線部[イ]について、下記の中から誤っているものをひとつ選び、記号で答えなさい。

- a. このギリシア人はアカイア人である。
- b. ホメロスの詩に歌われている時期にあたる。
- c. このギリシア人がクレタ文明を破壊した。
- d. 鉄器文明であった。
- e. ミノア文字の線文字Bを使用した。

設問3 (ウ)に当てはまる国名を答えなさい。

設問4 下線部[エ]について、バグダードからテヘランに向かう大道に面した岩壁に刻まれたベヒストゥーン碑文に刻まれているのは誰の事績なのか答えなさい。

設問5 下線部[オ]について、この反乱が原因となってペルシア戦争が起こった。ペルシア戦争における戦いにはテルモピレーの戦い、マラトンの戦い、プラタイアの戦い、サラミスの海戦などがあったが、上記の戦いのうち古い順から数えて3番目はどの戦いであったのか答えなさい。

- 設問6 下線部[カ]について、これにより形成されたヘレニズム世界の共通語を何と呼ぶのか答えなさい。
- 設問7 下線部[キ]について、このころのローマの政治を何と呼ぶのか答えなさい。
- 設問8 ( ク )に当てはまる人名を答えなさい。
- 設問9 下線部[ケ]について、死に際して帝国を二人の息子に二分した皇帝は誰か、答えなさい。
- 設問10 下線部[コ]について、これはイエルサレムが奪われたのを機に出発したが、それを奪った人物名を答えなさい。
- 設問11 下線部[サ]について、この莫大な財産を狙って弾圧し、解散に追い込んだ人物の名を答えなさい。
- 設問12 ( シ )に当てはまる語を答えなさい。
- 設問13 ( ス )に当てはまる語を答えなさい。
- 設問14 下線部[セ]について、これが原因で起こった出来事を答えなさい。

[V] ウィーン会議後に成立したドイツ連邦は連邦の国家的統一性がきわめて弱く、各邦は主権を有し独自の内政・外交を行った。ただし( ゾ )に [タ]各邦政府代表の構成する連邦議会と邦派遣の連邦軍を設置し、オーストリア・プロイセンの主導の下に自由と統一の運動を抑圧した。その間に [チ]プロイセンを中心に、オーストリアを除く大多数のドイツ諸邦からなる統一的関税機構が結成され、商工業者の望む経済的統一が進んだ。三月革命時にはドイツ諸邦の( ツ )者たちがひらいた( テ )でドイツ統一がめざされたが、失敗に終わった。この失敗はドイツにおいては( ツ )の方法による国家統一が不可能なことを示した。その後統一の主導権はプロイセンの政府・軍部を支配する保守的なユンカー層に移った。ユンカー出身のビスマルクはヴィルヘルム1世から首相に任命されると、議会の反対を押し切って軍備を拡張した。プロイセンはオーストリアとたたかってこれを破り、ドイツ連邦を解体し、プロイセンを盟主とする( ト )をつくりあげ、南ドイツの諸邦もプロイセンと同盟した。フランスの [ナ]ナポレオン3世はプロイセンの強大化をおそれプロイセン=フランス戦争を始めたがスダンで捕虜となり、第二帝政は崩壊した。ヴィルヘルム1世はドイツ皇帝の位につきドイツ帝国が成立した。ビスマルクは宰相として約20年間独裁的な権力をふるい、[ニ]南ドイツで有力なカトリック教徒を警戒してカトリック教徒を抑圧した。工業の成長によって勢力の増大した労働者階級に対して、社会主義運動を弾圧する一方、社会保険立法を成立させた。これによりドイツの労働者は当時の世界において、もっとも完備した社会保険制度を享受することができた。

プロイセン=フランス戦争後の国際政治における主要な不安定要因は、フランスの対独復讐感情とイギリス・オーストリア・ロシアの利害が衝突するバルカン問題であった。ドイツはフランスの対独復讐政策に対し、ヨーロッパの大國ロシアとオーストリアをフランスから遠ざけ、バルカン問題を利用して両国をドイツにつなぎとめておくことに努力した。バルカン半島に何ら利害関係を持たないドイツが、自国の安全と国際平和という大義名分のために、バルカン問題においても効果的に影響力を行使しようとした。ロシア=トルコ戦争の結果、サン=ステファノ条約により( ヌ )の維持の困難さを理解すると、ビスマルクはベルリン会議で、ドイツの好意はイギリス・オーストリアにあることを暗示した。ロシアがベルリン会議の決定に不満を持ち、しだいにドイツから離れていくことに備え、ドイツ=オーストリア同盟を結ぶ一方、ロシアとの妥協に全力を尽くし( ヌ )を復活させた。さらにイタリアを誘いドイツ・オーストリア・イタリアの三国同盟を結んだ。オーストリアとロシアの対立が激化して( ヌ )が消滅すると、ロシアとの間に( ネ )を結んだ。ビスマルクはこうした複雑な同盟網によって、フランスを孤立させることに成功した。

設問15 ( ゾ )に当てはまる地名を答えなさい。

設問16 下線部[タ]について、とくに弾圧の対象となった団体名を答えなさい。

設問17 下線部[チ]について、この結成に努力した経済学者の名を答えなさい。

設問18 ( ツ )に当てはまる語を答えなさい。

設問19 ( テ )に当てはまる語を答えなさい。

設問20 ( ト )に当てはまる語を答えなさい。

設問21 下線部[ナ]について、彼の威信を失墜させていたこととは何か答えなさい。

設問22 下線部[ニ]について、これを何と呼ぶのか答えなさい。

設問23 ( ヌ )に当てはまる語を答えなさい。

設問24 ( ネ )に当てはまる語を答えなさい。

[VI] フランス人レセップスにより着工されたスエズ運河は、1869年完成した。地中海と紅海を結ぶこの運河の完成によってエジプトの軍事的・戦略的重要性は増した。運河はエジプト政府とフランス政府を大株主とするスエズ運河会社により運営された。運河建設がフランスの主導のもとで進められたことに反発したイギリスは、運河株を購入しなかったため、運河の運営に参加することはできなかった。ところが[ノ]財政難になったエジプトから運河株を購入したのを契機に、イギリスは積極的に内政に干渉し、[ハ]「エジプト人のエジプト」を掲げる反英民族運動の鎮圧を機に運河地帯の駐屯権を得た。1888年、西欧列強はスエズ運河国際化条約を結び、運河はすべての国の船舶に開放される旨をさだめたが、運河地帯を実質的に支配しているのはイギリスであった。イギリスは1914年にエジプトを保護国とし、運河に対する支配権を強めた。1922年エジプトの独立後もイギリス軍の駐留は続き、1936年エジプト王国と同盟条約を締結し駐兵権を合法化し、[ヒ]キプロス、[フ]ジブラルタルとならんでイギリスの地中海支配の拠点とともに、インド・アジア・アフリカ支配の要とした。第二次世界大戦後、完全独立を目指すエジプトの対イギリス交渉の最大の懸案は運河問題であった。[ヘ]1952年エジプト革命が成功すると、1954年にエジプトとイギリス間に条約が結ばれ1956年6月にイギリス軍の撤退が完了した。しかし同年7月、[ホ]アスワン=ハイダム建設資金をスエズ運河の収益で当てようとするエジプトはスエズ運河の国有化を一方的に宣言した。かつて従属のシンボルであったスエズ運河は、いまや独立のシンボルとなった。

設問25 下線部[ノ]について、これを行った首相名を答えなさい。

設問26 下線部[ハ]について、この指導者名を答えなさい。

設問27 下線部[ヒ]について、イギリスがこの島の行政権を得た条約名を答えなさい。

設問28 下線部[フ]について、イギリスがこの地を取得した条約名を答えなさい。

設問29 下線部[ヘ]について、これを遂行してエジプト初代大統領となった人物名を答えなさい。

設問30 下線部[ホ]について、この建設に伴う水没から救済するためにユネスコの後援により移転された神殿を造営したエジプトの王の名を答えなさい。

[VII] 工業力が世界の首位となるまでに発展したアメリカ合衆国では、[マ]フロンティアが消滅するにつれ、帝国主義政策を求める声が高まった。共和党のマッキンリー大統領は[ミ]アメリカ=スペイン戦争でスペイン領植民地を獲得し、海外進出の足場を築いた。さらに中国市場にも積極的に進出しようとし、中国での門戸開放原則の承認を各国に要求した。マッキンリーをついだ共和党のセオドア=ローズヴェルトは、国内では大企業の市場支配を阻止するなどの社会改革を進める一方、[ム]中米諸国にたびたび武力干渉を行った。パナマ地峡の軍事的・経済的価値に着目した合衆国は、コロンビアからパナマ地峡をパナマ共和国として独立させ、ついでパナマから運河地帯を奪って運河建設を強行した。中米諸国への帝国主義政策は、武力干渉から[メ]経済力の浸透を重視する外交に変わっていたが、民主党から大統領になった威尔ソンはアメリカ民主主義の道義的優位を説いて、アメリカの指導力を認めさせる外交を推進した。パナマ運河が完成すると、合衆国は大西洋、太平洋への発展と軍事的発言力を増加し、中南米支配の拠点を確保するとともに、太平洋・アジア進出の基礎を固めた。

設問31 下線部[マ]について、何年ころのことか、下記からふさわしい数を選んで答えなさい。

1850    1860    1870    1880    1890    1900    1910

設問32 下線部[ミ]について、この戦争で合衆国が獲得したカリブ海の島の名を答えなさい。

設問33 下線部[ム]について、この外交政策は何と呼ばれているのか答えなさい。

設問34 下線部[メ]について、この外交政策は何と呼ばれているのか答えなさい。

設問35 パナマ運河地帯の現状として正しいものを下記から選んで記号で答えなさい。

- a. パナマ運河地帯は国際連合が管理している。
- b. パナマ運河地帯はパナマと合衆国で共同管理されている。
- c. パナマ運河地帯は合衆国が管理しているが、パナマに毎年年金を支払っている。
- d. パナマ運河地帯は合衆国の租借地となっている。
- e. パナマ運河地帯はパナマに返還された。

防衛大学校本科第61期学生  
一般採用試験（前期日程）第1次試験問題正誤表

専 攻	人文・社会科学
教 科	地理歴史
科 目	世界史

修正箇所	誤	正
試験問題 10頁中の2 <input checked="" type="checkbox"/> 設問7の1行目	「宋代・元代における	「宋代・元代を通じて
試験問題 10頁中の2 <input checked="" type="checkbox"/> 設問7の1行目	には妥当しない項目	したことの説明として適當ではない項目
試験問題 10頁中の2 <input checked="" type="checkbox"/> 設問7の解答の選択肢①	①北宋以降,	①宋代以降,
試験問題 10頁中の5 <input checked="" type="checkbox"/> III問題文の18行目	ブハラ=ハン国は（サ）	ブハラ（ボハラ）=ハン国は（サ）